

墨水会だより

題字：32回 石出直子

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 梶原徳二



西崎より見る夕日

房総半島は東京湾の東側から本州を離れその先端付近にある海岸都市で、かつて館山海軍航空隊基地のあった富士見から半島はおおきく南に湾曲し、先端の岬洲崎に至っている。この風景は夕方岬の上方からの日没の様子である。従って半島西側には遠く富士山の姿が100km以上離れている西崎より、相模湾のかなたに遠望出来素晴らしい光景となる。また、この辺りは東京湾の出入り口となっており、海上交通の要となっているので大小船舶の航路と重なり海岸からも素晴らしい景色情景が見られます。目の前に広がる館山湾は波静で鏡が浦とも呼ばれている。夏は海水浴で賑わう海岸となります。

総武本線館山駅に向かって左側の出口にでると観光案内所があり、この付近は特に寮のある西崎方面の案内をして貰うと便利である。洲崎灯台はこの岬の先端にあるが、白浜にある日本で第2番目の野島埼灯台が余りに有名で平砂浦が景勝地になっているので、少々かげの薄い存在となっております。岬を巡ると見渡す限り続く砂山がある海岸の平砂浦に出ま

墨田川3回 井上 常一

す。この平砂浦に沿って進めば白浜灯台に至ります。この辺りの半島は何度も起きた太平洋プレートの潜り込みによる、半島の隆起のための海底の盛り上がりで出来たものであり、関東大震災の際も最大5mほどの隆起が見られています。この状態を観察するには、半島西側の太平洋から舟を出し観察するのが一番であります。隆起して重なった地層が良く見えます。

館山から西崎に至る海浜段丘が広がる一带には、数多くの史跡や先人の遺跡が残り観察見学には最適の地であると思います。気候は温暖であり関東地方では鉾子と並んで降霜がないほど冬も激しい寒さのない地域であることが有名です。

戦前は東京や近県からも多くの別荘客がおとずれました。また学校の寮も多く建てられ西崎一带の周辺には多くの鍛錬場としての寮が存在しておりました。残念ながら近年は戦前のような体力増進のような考えが後退し寮の数も最盛期より減少しているようです。



母校創立百周年の

よろこびを胸に

墨田川4回 墨水会会長 梶原 徳二

昨年四年十月五日には永年待望の母校、東京都立墨田川高等学校（東京都立第七中、都立七中、都立第七高等学校）の創立百周年記念日を迎え、墨田区のトリフォニーホールにて記念の式典が挙行されました。創立記念日は厳密には前日の十月四日でしたが、新型コロナウイルス旋風の影響の故か翌日になりました。好日に恵まれた五日、新調された金色の校旗を飾りながら渡邊校長の式辞は百年の年月に多くの人材を育てて頂いた歴史に心からの感謝と、これからの決意をのべられ、また、同窓会会長として私からも祝辞を申し上げ、榮え行く我が校の発展と育ちゆく若き後輩の将来をお祈りした次第でした。

式典において在校生の演技等は当日の制限により映写放映による行事が行われましたが、立派な出来であったようです。午後からの同窓会主催の祝宴でも、心晴れやかな当日、予想以上に出席してくれた多くの友人たちとの親しい交流のために、素晴らしい時間を過ごすことが出来ました。美汀会の方々にもご支援を頂きましたが、墨水会からの連絡が不足し、ご迷惑を掛けたこともあったようで、失礼いたしました。式典・祝典等の記念事業のほかに、細かい作業もありましたが、同窓会で独自の事業としてやや夢みたくない計画として動いていた件として、墨水会だより第二十九号に記載した「同窓会館」の設立という案がありました。同窓会の事務・連絡業務等の仕事は現在本校の三階の小室を使わせていただいておりますが、会の連絡事務を主体として、校務との連絡、在校生の補助・支援の打ち合わせの場としてやや広い施設の利用を希望しておりました。歴代の要望でもあったかのような、令和三年の秋ごろから弁護士をされている同窓会元会長からの情報が入り、相続等の物件の譲渡の中で同窓会館のような

使用には喜んで低価で譲渡しようという案があり、ささやかな同窓会館設立の夢が実現になりそうな気配となりました。ところが残念ながら借地の物件であったため、地主の強い抵抗にあい結局はこの計画は夢となりました。会館の夢は全く未然のものでありましたが、同窓会の結束と母校の支援のための、あるいは在校生の進展のための補助支援等の熱意を失ったわけではありません。そしてこの意欲の連続が学校側ともお話しして発展してきたのがこれからの図書館の独特のリフォームでの利用です。第一に、すでに本校には社会的・文学的に知名度の高い医者、文学者の優れた卒業生もおいでですが、社会的に貢献のあった先輩方の尊敬のためにも展示コーナーを創り当校の伝統を常時顕示し、後輩たちの意欲を高めていこうという思いがあります。

第二に、最近の進学校における学生たちの図書館の利用法もかなり変化しており、学習席として特化出来る部分と、書架の見やすい取りやすいブラウジングスペースの拡大等のほか、学習室の改造により課題を共に考えることが出来るラーニング・コモンズの設置を期待しています。その他予算の工夫と共に都庁側の配慮を聞きながら、学習環境の良化を含めて、大きく変わった新図書室を計画工夫したいと思っています。

百一年以降を目指すこれからは、一段と後輩・生徒たちの力を育てることを目的に、器としての学校の発展を支援して行きたいと願っております。「生徒のために、生徒と共に」の本校教師の声も聴きました。良き後輩たちの素直な自助努力を祈り、新時代のスタートのご挨拶いたします。





墨田川一〇一年目の挑戦

第26代校長 渡邊 範道

令和四年四月に教育庁人事部試験課長から本校統括校長に命じられ着任いたしました。早いもので、まもなく一年が過ぎようとしています。この間、梶原会長はじめ墨水会の皆様方には、本校の教育活動に対し、御理解、御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

この一年は、何といたっても墨水会の皆様の御協力のおかげで、創立百周年記念式典を無事終えることができたことが最大の出来事でした。私にとつては、百周年の記念すべき節目の年に着任する巡り合わせは、最初たいへんな驚きでもあり、その責任の大きさに「身が引き締まる」という言葉以上の緊張と不安がありました。が、周年行事は学校の一体感を確認する好機であると考え、私としては、これも幸運と思ひ直し準備を進めてまいりました。また、くしくも私の母校である北海道北見北斗高等学校も今年が創立百周年で、何か不思議な縁を感じました。

しかしながら、時はコロナ禍。感染拡大と一時的な収束を繰り返し、予断を許さない状況でした。四月末、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う都教育委員会の通知により、式典参加人数を減らすことが求められました。さらに、吹奏楽の演奏や校歌斉唱等の合唱も認められず、本当に残念で悔しい思いでした。発表の場として張り切っていた生徒たちはもちろん、参加を待ち望んでいた墨水会会員の皆様や退職校長先生をはじめとする来賓の皆様には本当に申し訳ない思いでいっぱいでした。実行委員会において通知について切り出した私の言葉を委員の皆様は複雑なお気持ちでお聞きになったものと拝察いたします。大きな節目の百周年に向け、二年以上前から準備をされてきた会員の方の中には、お怒りの気持ち

もあつたことでしょうか。しかしながら、皆さんは冷静に状況を判断され、できることをできるだけ一杯行い、よい式にしようとお話しいただきました。いろいろな思いを飲み込んでいただいた上、御協力くださった皆様に対する私のあの日の感激は、感謝や安堵といった気持ちをはるかに超え、記念式典だけでなく、残りの教員生活を七高のために尽くそうと思う大きな原動力になっていました。当日の記念式典や祝賀会は無事盛況のうちに終了し、大切な思い出となりました。

また、式典当日だけでなく、部活動支援や記念品の贈呈等、記念事業でも実行委員会の皆様には、生徒、学校に対し多大なる御協力をいただいています。その中でも、本校図書館のリニューアルは、今後の本校の飛躍の可能性を秘めたものとして大きな期待を抱いています。七高にゆかりのある卒業生や旧教職員等の著作や紹介記事等を展示するスペースや自習スペースの新設、閲覧室の机と椅子のリニューアル、現自習室のアクティブラーニングスペースへの改修が行われる予定です。専門の業者の方による設計に基づき、教員や一部生徒の意見も踏まえ、新年度からのリニューアルオープンに向け、現在最後の詰め段階です。

本年は、記念事業以外にもコロナ禍で失った学校生活を取り戻す活動が多くありました。体育祭、七高祭、合唱祭や、二年次生の関西方面への修学旅行等の学校行事も、様々な制約はありながらも、先生方の万全な感染対策と指導、生徒の皆さんの協力により、コロナ禍前に少しでも近づくような活発な様子が見られ、何とか無事に終了することができました。部活動においてもよく努力し、活動を継続することができました。中でも、水泳部二年次生の横山君は、全国高等学校総合

体育大会(インターハイ)四国総体に出場し、男子平泳ぎ二〇メートルで堂々四位入賞を果たしました。さらに、天文部は、日本学生科学賞東京都大会高等学校の部で見事最優秀賞に選ばれました。惜しくも全国大会には進出できませんでしたが、主催の読売新聞都内版に大きく取り上げられ、同窓生の方からも喜びの声が寄せられました。この二つの部に限らず、本校生徒の活躍は頼もしさを感じます。

さて、今年には次の百年に向けた新たな第一歩を踏み出した年でもあります。その一つが、今後三年間で目指す五つの学校像を墨田川ビジョン二〇二五として示したことです。

一つ目は、【教育目標を踏まえ、「全人教育」とその実現に向けて、「文武不岐を掲げる学校」(伝統の継承)】です。その具体的方針として、進学に向けた学習と学校行事・部活動を両立できる生徒や、学校行事等において主体的・協働的に活動できる生徒の育成等を掲げました。

二つ目は、【「進学重視型単位制高校」の特長を生かし、「進学指導推進校」としての成果を挙げる学校」(進学実績の向上)】です。同じく具体的方針として、習熟度別授業や少人数指導、多様な選択科目の設置等進学重視型単位制高校の特長を生かした授業の一層の充実、長期休業中や土曜日等を活用した講習等の計画的な実施等を示しました。

三つ目は、【総合的な探究の時間を核とした生徒の進路意識の向上及び学問的探究意識の育成と、生徒が自己の進路実現に向けて主体的かつ意欲的に学ぶことを、相乗的に発展させることができる学校」(キャリア探究と進学指導の効果的な連携)】です。具体的方針として、「探究推進部(仮称の新設による外部機関との連携や外部人材を積極的に活用した「総合的な探究の時間」の推進、進路行事、科目選択と「総合的な探究の時間」との連関により、早期に受験準備を始めさせる三年間を見通した進路指導計画の策定、進路意識啓発と志望校選定に向けてのきめ細かな進路面談の実施を示しました。また、この他にも、昨今の高等学校教育を巡る情勢等を踏まえ、【新学習指導要領改訂の趣旨の実現や国際化やICT

化の進む新しい時代の教育に向けた持続可能性を有する学校】や【教職員の協働と効率的な業務遂行、ライフ・ワーク・バランスの実現】を示しました。若手教員の創造力、発信力、企画力を高めるための人材育成の推進やICTを活用した校務の一層の効率化、長時間勤務の是正と教職員の意識改革を図る「ライフ・ワーク・バランス」を推進しながら、英語四技能伸長を基礎に海外姉妹校交流や海外語学研修を目指す国際理解教育や、一人一台端末の効果的な活用と情報活用能力の育成を進めていきます。

中でも特に取組を進めていきたいのが、三つ目の探究活動です。大学進学に当たっては、大学合格に必要な学力の獲得だけでなく、大学進学の意味や自らの今後の人生を考えさせることが必要です。さらに、進学する学部学科を選択するに当たっては、自身の興味関心のある学問分野において、社会的課題の解決に向けて、課題を発見し、解決に向けてどのような先人の知恵が必要か、解決に向けてどのような方法をとるべきか等学問的な手法を取り入れた探究型学習が求められます。つまり、生徒一人一人にとつて、大学入学後、何をどう学ぶのか、そして大学卒業後、どう生きていくのかを考えることは、学部学科選択の枠を超え非常に重要です。そこで、これまでの本校の実践をベースとしつつ、すべての取組が育てた資質や能力及び態度と適合したものとなつていくか見直ししながら、新しい「総合的な探究の時間」を「これからの自分と社会を考える『キャリア探究』」テーマを、「人に出会う。学問に出会う。」として新たに計画的に実践していくこととしました。また、この実践は、近年国公立大学等においても増えている「総合型選抜」への対応にもなります。さらに、高校進学を控えた多くの中学生と保護者にも必要だと考えてもらえらるものであり、募集対策としても効果が見込めると考えています。

七高は、今後も次の百年に向けた第一歩として、こうしたこれまでの取組の改善や新たな取組を、「二〇一年目の挑戦」として進めていきます。これからの本校の教育活動の益々の充実と発展のために、皆様方の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

祝賀会



梶原実行委員長挨拶

創立百周年 記念祝賀会

〈主催〉 東京都立墨田川高等学校 創立百周年事業実行委員会

〈日時〉 令和四年十月五日(水) 午後五時～午後八時

〈会場〉 錦糸町 東武ホテルレバンテ東京

十月四日の創立記念日を迎えた翌日、十月五日午後一時より、すみだトリフォニーホールに於いて学校主導による「創立百周年記念式典」が挙行され、引き続き、隣接する東武ホテルレバンテ東京の四階の大宴会場錦に於いて、「記念祝賀会」が開催されました。

当初は、折からのコロナウイルス感染拡大の懸念があり、また、東京都教育委員会からの諸々の規制通達により、開催すること自体が危ぶまれましたが、記念式典・記念祝賀会は、共に当初の計画を縮小し開催することに決定しました。

「祝賀会」は墨水会主導で開催するにあたり、準備のための分科会を立ち上げ、開会に向け打合せの会合を重ねました。

当日は、墨田区長・墨田区教育委員会教育長はじめ来賓の方々にご臨席戴き、墨水会・美汀会・墨汀会・墨桜会・現旧教員二百余名の参加を得て盛大に開催されました。

最高齢九十一歳のお元気な大先輩方三名の嬉しい参加もあり、卒業年度毎に設けられたテーブルを囲み、会場全体が和やかな話に花が咲き、参加者皆さんより、祝賀会開催の喜びと感謝の言葉を戴きました。

最後の「校歌斉唱」では、会場が弾けんばかりの大変な盛り上がりになり、祝宴は惜しまれつつ、めでたく幕を閉じました。

祝賀会



祝賀会場風景



校歌斉唱ピアノ伴奏
高70回 皆川春江氏

〈祝賀会式次第〉

- | | | | | |
|----|------------------|----------------------|---|------------|
| 一 | 開会の言葉 | 司会進行 | 高四十三回 | 藤原ひであき氏 *1 |
| 二 | 創立百周年記念事業実行委員長挨拶 | 墨水会 副会長 | 高十三回 | 横井 正男氏 |
| 三 | 学校長挨拶 | 墨水会 会長 | 高四回 | 梶原 徳二氏 |
| 四 | 来賓祝辞 | 墨田川高等学校 | 第二十六代校長 | 渡邊 範道氏 |
| | | 墨田区長 | | 山本 亨氏 |
| | | 墨田区教育委員会教育長 | | 加藤 裕之氏 |
| | | 歴代校長代表 | 第十八代校長 | 佐藤 光一氏 |
| 五 | 来賓紹介 | 歴代墨水会会長代表 | 七高一回 | 海谷 利宏氏 |
| 六 | 乾杯 | 墨水会 副会長 | 高十八回 | 小川 浩平氏 |
| 七 | 懇談〜アトラクション | 墨水会 | 中二十三回 | 荒川 博氏 |
| | | ◎ピアノ演奏 | 高四十七回 | 宇関 陽一氏 *2 |
| | | ◎百周年事業紹介 百周年実行委員会 | | |
| | | ・ 墨水会から学校への贈呈記念品等の紹介 | | |
| | | ・ 記念収録ビデオ一部紹介 | | |
| | | ・ 百年を振り返るスライド上映 他 | | |
| 八 | 中締め | 東向島宮元町会会長 | | 北條 嘉雄氏 |
| 九 | 校歌斉唱 | 指揮 | 高十八回 | 鈴木 憲康氏 |
| | | 伴奏 | 高七十回 | 皆川 春江氏 |
| 十 | 閉会の言葉 | 墨水会 顧問 | 高三回 | 井上 常一氏 |
| *1 | 藤原ひであき氏 | プロフィール | テレビ、ラジオの番組などナレーターとして活躍の他、多くの企業のPRを担当。某テーマパークのホテルを中心にフライタル司会者として長く活躍。 | |
| *2 | 宇関 陽一氏 | プロフィール | プロのジャズピアニストとしてジャズの本場ニューヨークを拠点として活躍中。一九九八・九九年の山野ビッグ・バンド・ジャズ・コンサートで二連覇。出場した全コンテストで優勝。 | |

記念式典第I部

百周年式典

令和四年十月五日すみだトリフォニーホールにて墨田川高校創立百周年記念式典が行われました。コロナ禍の中、来賓は最小限、合唱は行わない、など感染対策に留意しながら式典を一部と二部に分けて開催しました。



式次第

記念式典第I部 午後1時 開式

- 一、開式の辞
- 一、国歌斉唱
- 一、校長式辞
- 一、創立百周年記念事業実行委員会
委員長挨拶
- 一、来賓紹介
- 一、祝電紹介
- 一、生徒代表の言葉
- 一、閉式の辞



校長式辞



創立百周年記念事業実行委員会委員長挨拶



生徒代表の言葉

記念式典第Ⅱ部



ダンス部発表



墨水会招待演奏Ⅰ(ジャズピアノ)
高47回 宇関陽一氏



墨水会招待演奏Ⅱ(シンセサイザー)

記念式典第Ⅱ部 午後2時10分 開始

- 1 開会の言葉
- 2 ダンス部発表
- 3 百年を振り返るスライド上映
- 4 創立百周年記念事業目録贈呈
- 5 邦楽部演奏
- 6 体育祭応援団演舞映像上映
- 7 音楽部合唱映像上映
- 8 吹奏楽部演奏映像上映
- 9 墨水会招待演奏Ⅰ(ジャズピアノ)
- 10 墨水会招待演奏Ⅱ(シンセサイザー)
- 11 校歌演奏
- 12 閉会の言葉

第百回墨水会

総会

式典の後、午後四時より東武ホテルレバント東京三階「吉野」において第百回墨水会総会が開催されました。六十名近くの人達が出席し、山内副会長の司会のもと梶原会長の挨拶、渡邊校長による来賓挨拶の後、議事に入りました。難波副会長より事業報告、谷澤副会長より会計報告、宮本副会長より監査報告が行われ拍手で全て承認されました。又、今年度より予算についての審議が行われ百周年事業に対する予算も含め全て承認されました。その後海谷顧問、井上顧問、泉妻顧問、谷澤副会長に梶原会長から永年の墨水会活動や学校の発展に寄与した貢献に対し渡邊学校長との連名の感謝状が授与され総会は終了しました。



宮本副会長監査報告



梶原会長挨拶



井上顧問へ感謝状授与



海谷顧問へ感謝状授与



谷澤副会長へ感謝状授与



泉妻顧問へ感謝状授与

令和4年度

墨水会事業報告

令和3年7月1日〜令和4年6月30日



墨田川10回 直人 難波

8. 第99回墨水会総会

令和3年11月14日

於 台東区学習センター

31名の出席者があり、会長挨拶、美汀会
会長挨拶の後、事業報告、会計報告、会
計監査報告が行われ、全て承認されまし
た。その後新会長に高4回梶原徳二氏の
就任が了承されました。又百周年事業に
ついて話し合いが行われ、担当役員が承
認されました。

又、学校、美汀会等に取り組みを働きか
けてゆく事になりました。来年度より予
算を審議する事、事業報告、会計報告を
7月から翌年の6月までに統一する事に
なりました。

11. 役員会

令和3年11月24日

於 カジワラビル会議室

10名の役員が出席し、百周年事業につい
て話し合いが行われ、祝賀会は校歌祭と
の関係で3時より椿山荘で開催する事で
調整する事になりました。又総会は10月
1日に開催する事になりました。又クラ
ブ活動補助として全国大会に出場した水
泳部(5名)に56,000円、ボート
部(1名)に27,000円寄付する事
になりました。

12. 学校運営連絡協議会

令和3年12月1日 於 校長室

梶原会長、泉妻顧問、小川副会長が出席
しました。

13. 役員会

令和3年12月8日 於 文京楽器店

6名の参加者で、百周年のアトラクショ
ンとしてシンセサイザー演奏が適当か
担当者から説明を受け、演奏を聴きまし
た。

9. 学校との打ち合せ

令和3年11月15日 於 校長室

梶原新会長、横井、谷澤副会長と寺島校
長、石村副校長が出席し、総会の報告、
百周年事業の取り組み、同窓会館設立に
ついて等、墨水会より説明がありまし
た。学校より水泳部、ボート部の全国大
会出場の援助についての申し出がありま
した。

10. 広報委員会

令和3年11月24日

於 カジワラビル会議室

6名の委員が出席し、墨水会だより29号
発刊に向けて第1回目の話し合いが行わ
れ、今回は百周年事業の一環として墨田
川1回から52回までの会員に配る見積を
㈱サラトに依頼する事になりました。

15. 広報委員会

令和3年12月15日 於 同窓会室

㈱サラトの担当者と墨水会だより発刊に
ついて打ち合せを行い、12,000部

1. 美汀会会長と会合

令和3年8月7日

於 カジワラビル会議室

墨水会役員と安部会長とで百周年事業に
ついて初めての話し合いを行いました。

2. 役員会

令和3年8月22日 於 七生寮

12名の役員が参加し、今年度の懇親会・
忘年会は中止し、総会は11月中に開催す
る事が確認されました。

3. 常任幹事会

令和3年9月13日 於 すみだ女性会館

総会は11月14日に台東区生涯センターに
て開催する事に決定しました。
又、百周年事業に関し墨水会の担当者を
決める事になりました。

4. 役員会

令和3年9月28日

於 カジワラビル会議室

同窓会館設立について、梶原会長、海谷
顧問より説明がありました。

6. 役員会

令和3年10月6日

於 カジワラビル会議室

同窓会館設立の物件購入について話し合
いが行われ、前向きに検討する事になり
ました。

7. 常任幹事会

令和3年10月13日

於 すみだ女性センター

27名の出席者があり、事業報告、会計報
告をホームページに掲載する事になりま
した。

又百周年事業の墨水会役員を担当者案が
示され、了承されました。

- ・総務：梶原、海谷、井上、泉妻、谷澤
- ・会計：加藤、竹鼻、宮本
- ・記念品、記念事業：谷澤、清澤、山内
- ・式典：泉妻、清澤、山内
- ・祝賀会：梶原、横井、小川
- ・案内状、受付等：横井、小川、宮本
- ・記念誌：谷澤、加藤、竹鼻、清澤

の作成費、配送費の見積り等お願いしました。

16. 百周年実行委員会

令和3年12月18日 於 会議室

墨水会8名、学校6名、美汀会2名の出席者で開催され、実行委員長に梶原墨水会会長が選出されました。又それぞれの担当者の紹介の後話し合いが行われ、今後も定期的に会議を開く事になりました。

17. 役員会

令和3年12月18日 於 会議室

会報の配送方法について墨田川1回から40歳の52回までの会員に配送する事が了承されました。又総会で質問のあった、事業報告、会計報告は7月より翌年の6月迄の期間にする事になりました。又、次回から予算案を提示する事になりました。

事務の小荷田さんが来年の3月で退職する事になり、その後を15回加藤多恵子副会長が引き継ぐ事になりました。

18. 広報委員会

令和4年1月14日 於 同窓会室

8名の出席者で墨水会だより29号の記事の点検、校正、割り付の作業を行い、その後(株)サラトの担当者で打ち合わせを行いました。

19. 役員会

令和4年1月24日

於 カジワラビル会議室

4月28日に(株)サラトが高1回から高52回(40歳)卒業生に墨水会だより29号を送るとの報告がありました。又、記念

誌は式典、祝賀会を記載する為、発行は来年の2月末頃になる事、又同窓会館設立については交渉先と順調に話が進んでいるとの報告がありました。

20. 広報委員会

令和4年2月1日 於 同窓会室

会館設立の為社団法人を立ちあげる為の資料作成作業と、(株)サラトの担当者で墨水会だより29号発刊に向けて細部の打ち合わせを行いました。

21. 役員会

令和4年2月8日

於 カジワラビル会議室

祝賀会の日時と会場を変更し、10月5日に式典の後、総会、祝賀会を東武レバン ト東京にて開催する事になりました。又今年の卒業生に5000円のクオカードを贈る事になりました。

22. 百周年実行委員会

令和4年2月16日 於 会議室

墨水会7名、学校6名、美汀会2名の出席者で百周年事業の総枠について話し合いを行い、その後各担当別に今後の取り組みについての検討を行い散会しました。

23. 広報委員会

令和4年2月16日 於 同窓会室

(株)サラトより送られてきた原稿の校正作業を行いました。

24. 役員会

令和4年2月24日

於 カジワラビル会議室

常任幹事会を開催し、総会、祝賀会の日時、会場の変更について了承を得る事に

なりました。又クオカードの試作品が示され、出席者全員の賛成で350枚発注し、今年度の卒業生に配る事になりました。

25. 実行委員会

令和4年3月12日 於 LL教室

墨水会9名、学校7名、美汀会2名、墨汀会1名の出席者があり、それぞれの担当の進捗状況の報告がありました。その後、担当ごとに打ち合わせを行い散会しました。

26. 広報委員会

令和4年3月12日 於 同窓会室

6名の委員で墨水会だより29号の最終校正を行いました。

27. 常任幹事会

令和4年3月17日

於 すみだ女性センター

22名の出席者があり、祝賀会、総会の変更についての説明がなされ、了承されました。又シンセイザの説明が業者よりなされました。又次回の総会から事業報告、会計報告は7月より翌年の6月迄の期間にする事、又予算案を示す事等が報告されました。

28. 役員会

令和4年3月24日

於 カジワラキッチン会議室

百周年事業について担当より進行状況の報告があり、記念誌は3社による見積りを取っているとの報告がありました。又同窓会館について、地主との話し合いがうまくゆかず中断しているとの報告がありました。

29. 百周年総務委員会

令和4年4月23日 於 校長室

墨水会3名、学校3名、美汀会2名、墨汀会1名、墨桜会3名が出席し、自己紹介の後百周年事業の進行状況の説明が各担当からあり、渡邊新校長より準備作業を急ぐよう話がありました。

30. 役員会

令和4年4月26日 於 会議室

校長、副校長も出席し、話し合いが行われ、各担当より予算の提出を出来るだけ早く、又式典、祝賀会のアトラクションは連絡を取り合って決める事、又記念品についてはグラスを考えている、又図書室を改造して墨水会コーナーを設置する等の話がありました。

31. 学校訪問

令和4年5月2日 於 図書室

会長はじめ3名が訪問し、校長、副校長に案内をしていただき図書室を見学しました。その後校長室で墨水会コーナー設置や学習室の改造について話し合いを行いました。

32. 百周年実行委員会

令和4年5月14日 於 会議室

墨水会4名、学校6名、美汀会2名、墨汀会2名が出席し話し合いが行われ、式典は午後1時より、総会は4時より、祝賀会は5時より開催する事になりました。又都の通達により式典の参加者の厳選(少数)等、式典の方法を再検討するとの報告がありました。その後担当者間の話し合いが行われ、散会しました。

33 常任幹事会

令和4年5月24日 於 会議室
23名の出席者があり、百周年事業の進行状況報告、2寮の事業報告、総会開催についての説明がありました。

墨汀会↓美汀会のOB・OG会
墨桜会↓定時制OB・OG会

その他

① 楽水寮視察 [令和3年7月15日]
谷澤理事・清澤理事出張

4月・5月・6月分の宿泊費精算と、7月

8月の夏季開寮についての打ち合わせを行いました。

② 七生寮開寮準備

[令和3年7月27日・28日]

谷澤理事・清澤理事・加藤理事・竹鼻評議員

と草刈担当の板垣さんの計5名で行いました。

③ 七生寮開寮

[令和3年7月29日～8月22日]

谷澤理事・清澤理事が交代で管理運営を行いました。

今年度の利用者総数は105名でした。中旬、雨が多い時期があり、1号室、2号室で雨漏りが確認され処理を行いました。

④ 七生寮開寮 [令和3年8月22日・23日]

墨汀会の田中氏・丸山氏と谷澤理事・清澤理事で例年通り行いました。

⑤ 楽水寮視察 [令和3年9月7日]

谷澤理事・清澤理事出張

網代管理人より夏季宿泊状況の報告及び7月・8月の宿泊費の精算作業を行いました。

⑥ 七生寮視察 [令和3年11月9日]

谷澤理事・清澤理事で星野リゾートの担当者

と来年度の打ち合わせ(七生会事務担当の小荷田さんが3月に退職の為、今後の事務引き継ぎの件等)を行いました。又、寮の雨漏りの状況確認を行いました。

⑦ 学校運営連絡協議会

[令和3年12月1日] 於 校長室

梶原会長・泉妻顧問・小川副会長が出席しま

した。

⑧ 卒業式 [令和4年3月5日] 於 体育館

梶原会長・海谷顧問・井上顧問が出席しました。卒業生307名全員に百周年記念クオ

カードを配布しました。今年の墨水会入会者は227名で80名の多くの卒業生が未加入

でした。

⑨ 楽水寮視察 [令和4年3月7日]

谷澤理事・清澤理事出張

12月・1月・2月の宿泊費の精算を行いました。

⑩ 七生会事務引き継ぎの会合

[令和4年3月17日]

事務の小荷田さんと新しく担当する加藤理事とで話し合いが行われました。(谷澤理事

同席)30日に引き継ぎ作業(資料を事務室から同窓会室へ移動、整理)を行いました。

⑪ 引き継ぎ作業 [令和4年3月30日]

宮本会計事務所2名の手伝いの方も含め

5名で作業を行い、その後同窓会室で今後の七生会の事務連絡の方法について打ち合わせ

を行いました。

⑫ 楽水寮視察 [令和4年4月5日]

谷澤理事・清澤理事出張

3月の宿泊費の精算を行いました。

令和3年度2寮の利用状況は楽水寮・宿泊者数493名、七生寮・宿泊者数105名

でした。管理人の網代さんと令和4年度の管理契約を結びました。

⑬ 入学式 [令和4年4月7日] 於 体育館

梶原会長、横井副会長、谷澤副会長が出席しました。

⑭ 百周年記念墨水会だより29号発刊

[令和4年4月28日]

高校52回までの約1万名の会員に配送しました。

⑮ 七生寮視察 [令和4年5月10日]

谷澤理事・清澤理事出張

令和4年度の管理契約を星野リゾートと結びました。又水漏の件について話し合い、こちらから連絡するまでは水道の元栓を開かない事にしました。

⑯ 七生会打ち合わせ [令和4年5月12日] 於 宮本会計事務所

谷澤理事、加藤理事、竹鼻評議員、宮本監査、田草川氏(宮本会計事務所職員)の5名で、理事会に向けて事業報告、会計報告について検討しました。又百周年事業の会計方法についても話し合いを行いました。

⑰ 学校運営連絡協議会 [令和4年5月14日] 於 校長室

梶原会長、小川副会長が出席しました。

⑱ 百周年事業関係作業 [令和4年6月6日] 於 同窓会室

6名の役員で、式典、祝賀会等の案内配送の作業を行いました。

⑳ 七生会理事會 [令和4年6月29日] 於 会議室

事業報告、会計報告、監査報告、予算、事業計画の審議の後、理事長には引き続き泉妻前墨水会会長が就任する事や新しい理事、評議員について話し合いました。又楽水寮の網代管理人は来年度の管理業務はむずかしそうだと報告がありました。

又七生寮の水漏等の報告がありました。



36 役員会
令和4年6月22日 於 カジワラビル会議室
各担当から百周年事業の進展状況について報告がありました。又百周年の会計事務処理方法は新しく作った通帳で竹鼻副会長が会長の許可を得て行う事になりました。

① 楽水寮視察 [令和3年7月15日]
谷澤理事・清澤理事出張

4月・5月・6月分の宿泊費精算と、7月

8月の夏季開寮についての打ち合わせを行いました。

② 七生寮開寮準備

[令和3年7月27日・28日]

谷澤理事・清澤理事・加藤理事・竹鼻評議員と草刈担当の板垣さんの計5名で行いました。

③ 七生寮開寮

[令和3年7月29日～8月22日]

谷澤理事・清澤理事が交代で管理運営を行いました。

今年度の利用者総数は105名でした。中旬、雨が多い時期があり、1号室、2号室で雨漏りが確認され処理を行いました。

④ 七生寮開寮 [令和3年8月22日・23日]

墨汀会の田中氏・丸山氏と谷澤理事・清澤理事で例年通り行いました。

⑤ 楽水寮視察 [令和3年9月7日]

谷澤理事・清澤理事出張

網代管理人より夏季宿泊状況の報告及び7月・8月の宿泊費の精算作業を行いました。

⑥ 七生寮視察 [令和3年11月9日]

谷澤理事・清澤理事で星野リゾートの担当者

と来年度の打ち合わせ(七生会事務担当の小荷田さんが3月に退職の為、今後の事務引き継ぎの件等)を行いました。又、寮の雨漏りの状況確認を行いました。

⑦ 学校運営連絡協議会

[令和3年12月1日] 於 校長室

梶原会長・泉妻顧問・小川副会長が出席しま

した。

⑧ 卒業式 [令和4年3月5日] 於 体育館

梶原会長・海谷顧問・井上顧問が出席しました。卒業生307名全員に百周年記念クオ

カードを配布しました。今年の墨水会入会者は227名で80名の多くの卒業生が未加入

でした。

⑨ 楽水寮視察 [令和4年3月7日]

谷澤理事・清澤理事出張

12月・1月・2月の宿泊費の精算を行いました。

⑩ 七生会事務引き継ぎの会合

[令和4年3月17日]

事務の小荷田さんと新しく担当する加藤理事とで話し合いが行われました。(谷澤理事

同席)30日に引き継ぎ作業(資料を事務室から同窓会室へ移動、整理)を行いました。

⑪ 引き継ぎ作業 [令和4年3月30日]

宮本会計事務所2名の手伝いの方も含め5名で作業を行い、その後同窓会室で今後の七生会の事務連絡の方法について打ち合わせ

を行いました。

⑫ 楽水寮視察 [令和4年4月5日]

谷澤理事・清澤理事出張

3月の宿泊費の精算を行いました。

令和3年度2寮の利用状況は楽水寮・宿泊者数493名、七生寮・宿泊者数105名

でした。管理人の網代さんと令和4年度の管理契約を結びました。

⑬ 入学式 [令和4年4月7日] 於 体育館

梶原会長、横井副会長、谷澤副会長が出席しました。

⑭ 百周年記念墨水会だより29号発刊

[令和4年4月28日]

高校52回までの約1万名の会員に配送しました。

⑮ 七生寮視察 [令和4年5月10日]

谷澤理事・清澤理事出張

令和4年度の管理契約を星野リゾートと結びました。又水漏の件について話し合い、こちらから連絡するまでは水道の元栓を開かない事にしました。

⑯ 七生会打ち合わせ [令和4年5月12日] 於 宮本会計事務所

谷澤理事、加藤理事、竹鼻評議員、宮本監査、田草川氏(宮本会計事務所職員)の5名で、理事会に向けて事業報告、会計報告について検討しました。又百周年事業の会計方法についても話し合いを行いました。

⑰ 学校運営連絡協議会 [令和4年5月14日] 於 校長室

梶原会長、小川副会長が出席しました。

⑱ 百周年事業関係作業 [令和4年6月6日] 於 同窓会室

6名の役員で、式典、祝賀会等の案内配送の作業を行いました。

⑳ 七生会理事會 [令和4年6月29日] 於 会議室

事業報告、会計報告、監査報告、予算、事業計画の審議の後、理事長には引き続き泉妻前墨水会会長が就任する事や新しい理事、評議員について話し合いました。又楽水寮の網代管理人は来年度の管理業務はむずかしそうだと報告がありました。

又七生寮の水漏等の報告がありました。

令和3年度 墨水会会計報告

収支計算書 (令和3年度)

令和3年7月1日から
令和4年6月30日まで

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	摘要
R3年度卒業生入会金	1,816,000	227名×8,000円
名簿代(R3年度卒)	908,000	227名×4,000円
名簿販売	17,386	4冊
寄付金	8,479,730	292名
利子	9,717	定期預金等
当期収入合計(A)	11,230,833	

2 支出の部

科目	金額	摘要
総会費	21,000	22名出席
墨水会会報費	1,616,104	10,000部
小冊子名簿代	70,096	(株)サラト
通信費	235,928	切手代、郵送代、寄付金礼状費用
会議費	392,030	常任幹事会、広報委員会、役員会
学校補助金	349,510	水泳部ボート部補助、クオカード作成
事務委託費	997,000	小荷田さん、谷澤さん 給与・交通費
雑費	20,724	事務費他
当期支出合計(B)	3,702,392	

3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	11,230,833	
当期支出合計(B)	3,702,392	
当期収支差額 (A)-(B)	7,528,441	
期首在庫品(C)	5,615,800	1,306冊×4,300円
期末在庫品(D)	4,622,500	1,075冊×4,300円
当期剰余金 (A)-(B)-(C)+(D)	6,535,141	前期剰余金11,967,172

繰越金計算書

前期繰越金	54,491,963	
当期剰余金	6,535,141	
次期繰越金		61,027,104

以上のとおり御報告申し上げます。

令和4年10月5日

墨水会 会長 梶原 徳二
墨水会 会計 谷澤 尚樹

開始残高

令和3年7月1日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	38,000,000 (一般口座22,000,000) (寄付口座16,000,000)
普通預金	10,773,744 (一般口座 2,877,036) (寄付口座 7,896,708)
現金	102,430
在庫品	5,615,800
資産の部合計	54,491,974

2 繰越の部

繰越金	42,260,791
前期剰余金増加額	12,231,172
繰越の部合計	54,491,963

閉鎖残高

令和4年6月30日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	38,000,000 (一般口座22,000,000) (寄付口座16,000,000)
普通預金	18,217,100 (一般口座 1,919,576) (寄付口座16,297,524)
現金	187,504
在庫品	4,622,500
資産の部合計	61,027,104

2 繰越の部

繰越金	54,491,963
当期剰余金増加額	6,535,141
繰越の部合計	61,027,104

監査報告書

墨水会定時総会議長 殿

令和4年10月5日

令和3年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

墨水会

会計監査 宮本 雄司
会計監査 石井 温

令和4年度 墨水会予算書

令和4年7月1日から
令和5年6月30日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
R4年度卒業生入会金	2,400,000	1,816,000	584,000	入会者300名×8,000円
名簿代(R4年度卒)	1,290,000	925,386	364,614	購入者300名×4,300円
寄付金	7,000,000	8,479,730	△1,479,730	100名
利子	5,000	9,717	△4,717	
当期収入合計(A)	10,695,000	11,230,833	△535,833	

2 支出の部

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
墨水会会報費	500,000	1,616,104	△1,116,104	3,000部
百周年事業費	30,000,000	0	30,000,000	式典・祝賀会・記念品・記念誌等
小冊子名簿代	90,000	70,096	19,904	320部
校歌祭費	70,000	0	70,000	参加費、広告代等
通信費	50,000	235,928	△185,928	切手代、郵送代等
会議費	300,000	392,030	△92,030	常任幹事会、広報委員会、役員会等
学校補助金	100,000	349,510	△249,510	クラブ補助等
渉外費	100,000	0	100,000	美汀会、墨汀会、七星会等
事務委託費	600,000	997,000	△397,000	谷澤副会長事務・交通費
雑費	50,000	20,724	29,276	事務費等
総会費	200,000	21,000	179,000	会場費等
当期支出合計(B)	32,060,000	3,702,392	28,357,608	

3 当期剰余金の部

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
当期収入合計(A)	10,695,000	11,230,833	△535,833	
当期支出合計(B)	32,060,000	3,702,392	28,357,608	
当期収支差額(A)-(B)	△21,365,000	7,528,441	△28,893,441	
期首在庫品(C)	4,622,500	5,615,800	△993,300	1,075冊×4,300円
期末在庫品(D)	3,332,500	4,622,500	△1,290,000	775冊×4,300円
当期剰余金 (A)-(B)-(C)+(D)	△22,655,000	6,535,141	△29,190,141	

前回の常任幹事会において、来年度にむけての予算案を作成すべきではないかとの意見があり、役員会で検討した結果、今年より、会計報告と共に予算案を作成し、総会で承認を得る事になり、10月5日の総会に提案し承認されました。

墨水会 会長 梶原 徳二
墨水会 会計 谷澤 尚樹

二寮のご案内



軽井沢 **七生寮**

七生寮



楽水寮 房総館山

楽水寮



〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字赤岩2148
☎0267-45-5672

◆交通案内◆

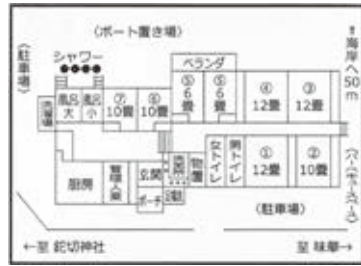
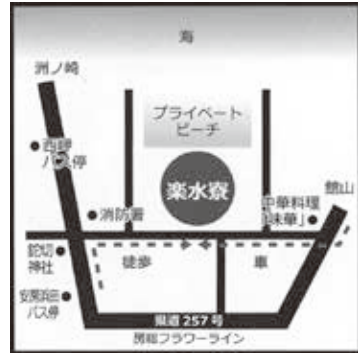
- 電車 東京駅北陸新幹線にて1時間15分
「軽井沢」駅下車
「星野リゾート」シャトルバス15分
しなの鉄道「中軽井沢」駅より徒歩25分
- 自動車 関越自動車道藤岡経由で長野道に入り軽井沢
インターにて一般道に下り国道146号經由
アートホテルVILLA11前を右折、突き当りを右30m先左側

利用期間 7月下旬から8月下旬
申込方法 6月1日より受付を行います。
 ☎090-9817-2213 (谷澤)
 ☎090-8745-9257 (清澤)

利用料金 素泊：大人…3,000円 (中学生以上)
 小人…2,000円 (小学生)
 在校生…2,000円
 休憩：大人…2,000円
 小人…1,000円
 在校生…1,000円
 厨房利用：1日 500円

チェックイン チェックイン：午後2時
アウト チェックアウト：午前10時

お風呂は
割引きのある
トンボの湯、
塩壺温泉を
ご利用下さい



〒294-0303 千葉県館山市浜田160
☎0470-29-0127

◆交通案内◆

- 高速バス JRバス東京駅八重洲西口より館山駅行特急バス
座席指定が1時間毎に運行されております
- 電車 東京方面からは内房線各駅停車にて「館山」駅下車
駅前よりバスにて20分「安房浜田」徒歩5分
- 自動車 高速館山道終点富浦ICにて一般道に下り洲崎方面に
向かい中華料理(味華)脇を右折3分

利用期間 原則として通年ご利用できます
申込方法 夏季休校中の予約は6月1日より
 7月20日迄は ☎090-9817-2213 (谷澤)
 その他の期間は ☎0470-29-0127 (楽水寮)

利用料金 素泊：大人 3,000円 (中学生以上)
 小人 2,000円 (小学生)
 在校生 2,000円
 休憩：大人 2,000円
 小人 1,000円
 在校生 1,000円
 厨房・バーベキューセット利用：1日 500円

チェックイン チェックイン：午後2時
アウト チェックアウト：午前10時

令和5年3月で楽水寮管理人の網代さんが退職される事になり、新しい管理人を探しています。そのため4月からの使用の申し込みについては、楽水寮か谷澤理事に連絡をするようお願い致します。

二寮について

（財）七星会業務執行理事

墨田川15回 谷 澤 尚 樹

令和三年四月から同四年三月までの七生寮の利用状況は七生寮が百五名（七月二十九日から八月二十一日までの二十五日間の開寮）、楽水寮が一年間に四百九十三名でした。昨年度より七生寮利用者は三十三名減少し、楽水寮利用者は百八十七名の増加でした。

今後の七生寮の問題としては、何回か修理しても直らない（誤作動してしまう）火災報知器や一・二号室等の雨漏（何回か屋根の修繕を行っています）水道管の老朽化による水漏（土地を掘り返し修理する必要があります）等の問題を抱えています。又楽水寮については、十九年間管理人をしていた網代さんご夫婦が高齢のため退職する事になり、新しい管理人を捜しています。網代さんには長い間一生懸命仕事をしていたき、多くの宿泊者より感謝の言葉をいただいております。本当にご苦労様でした。

今後二寮をどの様に維持、管理運営してゆくのか、老朽化しリノベーションをしなければならぬ時期にある二寮です。現在都立高校で山の寮、海の寮の二寮を持っているのは墨田川高校だけです。現役の生徒も使用しなくなりPTAからの資金援助もない中で、墨水会だけで現在のままの財団法人七星会を維持してゆけるのか今後の墨水会の大きな課題だと思います。

（財）七星会 収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 執行額, 増減, 備考. Rows include 1. 事業収入 (七生寮収入, 楽水寮収入), 2. 寄付金収入, 3. 預金利息, 4. 雑収入, 5. 定期預金取崩額, and summary rows for 当期収入合計, 前期繰越収支差額, and 収入合計.

2 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 執行額, 増減, 備考. Rows include 1. 事業費 (給料手当, 臨時雇賃金, 食糧費, 福利厚生費, 通信運搬費, 消耗品費, 水道光熱費, 保険料, 委託費, 雑費), 2. 管理費 (会議費, 旅費交通費, 印刷製本費, 修繕費, 事務委託費, 租税公課), 3. 固定資産取得支出 (内外部改修工事支出, 什器・備品購入支出), 4. 施設維持積立金, 5. 法人税・住民税・事業税等, and summary rows for 支出合計, 収支差額, and (参考) 損益.

固定資産取得 0
減価償却費 △601,745
当期純利益 △2,952,346



（財）七星会監事
墨田川30回
宮本会計事務所
宮本 雄司

創立百周年記念事業の寄付についてのご報告

墨水会会計 墨田川15回 谷澤 尚樹



平成三十年から始まった創立百周年事業に向けての寄付も今回で終了となります。この間会員の皆様や関係する方、団体等より多数のご支援をいただき、目標に達する事ができました。今回は高五十二回までの会員一万人以上の方に会報を送り寄付のお願いをしたおかげで多数の方よりご協力いただきました。誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

尚、次回の総会にて百周年事業の決算報告をするとともに、令和五年度発刊の墨水会だより三十一号に記載致します。又これからも学校への支援及び財団法人七星会への支援を行っていきたく思いますので尚一層の御協力の程宜しくお願い申し上げます。

五年間に四百四十八名の会員と七団体、三名の旧職員の方、他一名の方より三千五百一十二万八千四百八十円のご寄付をいただきました。(利息も含む)この寄付金は式典、祝賀会の費用及び記念誌発刊費用、記念品作成費用、記念事業等に使用させていただきました。

第二十六回寄付金一覧 平成三十年一月より令和四年十二月末日

匿名	30回	一千五十万円
梶原 徳二	4回	一千万円
海谷 利宏	1回	百七十万円
村田 和夫	12回	百四十万円
内宮 俊之	33回	百万円
泉妻 秀一	8回	四十一万円
松本 雅行	18回	四十万円
墨水法曹会		四十万円
長坂 達也	17回	三十三万円
井上 常一	3回	三十万円
島村 元紹	4回	三十万円
迎 邦彦	12回	三十万円

三浦 晃靖	4回	十三万円
内田 和幸	10回	十三万円
高橋 敏昭・静子	8回・10回	十一万円
渡辺 寿	5回	十万円
石橋 孝子	10回	十万円
横井 正男	13回	十万円
櫻井 邦彦	15回	十万円
庭野 正和	21回	十万円
鈴木 利根	24回	十万円
墨汀会		十万円
堤校舎同窓会		十万円
篠田 昭二	7回	九万円

富田 角次郎	13回	八万円
谷澤 尚樹	15回	八万円
加藤 多恵子	15回	八万円
竹鼻 宏子	15回	八万円
清澤 健一	17回	八万円
田中 俊治	25回	八万円
宮本 雄司	30回	八万円
岡村 尚次	15回	七万円
岡本 雅義・文字	21回	七万円
青木 正則	48回	七万円
難波 直人	10回	六万円
保坂 一寿	12回	六万円
白木原 靖男	15回	六万円
野崎 一雄	15回	六万円
匿名	27回	六万円
増田 達男	旧職員	六万円
大木 善夫	中20回	五万円
会田 隆久	4回	五万円
大谷内 市五郎	8回	五万円
宇田川 治雄	9回	五万円
小山 稔	14回	五万円
柏木 保男	18回	五万円
羽成 守	18回	五万円
小川 浩平・弘子	18回	五万円
伊藤 泰司	26回	五万円
山内 雅哉	30回	五万円
鈴木 茂樹	32回	五万円
墨校会		五万円
内田 忠男	8回	四万円
八木 三雄	9回	四万円
黒川 保太郎	13回	四万円
木場 藤一郎	13回	四万円
荒井 徹	15回	四万円
斉藤 よし子	22回	四万円
馬場 祐造	27回	四万円
有賀 康修	旧職員	四万円

安川 忠正	中19回	三万円
荒川 博	中23回	三万円
齋藤 隆	3回	三万円
田辺 正一	4回	三万円
辻田 耕作	4回	三万円
葛西 克之	7回	三万円
金子 恒三	7回	三万円
大塚 松江	7回	三万円
林 綾子	9回	三万円
矢作 裕弘	9回	三万円
泉 康子	10回	三万円
林 一江	10回	三万円
志村 恭子	10回	三万円
長谷川 瑞枝	13回	三万円
青木 正博	13回	三万円
高木 新太郎	13回	三万円
吉野 行英	14回	三万円
佐藤 泰生	15回	三万円
中村 邦雄	15回	三万円
石井 敏子	15回	三万円
渡辺 幸夫	15回	三万円
塚越 健次	18回	三万円
森山 紀之	18回	三万円
村瀬 哲生	21回	三万円
新井 洋子	23回	三万円
岩崎 健夫	23回	三万円
竹村 精治	24回	三万円
横打 圭子	24回	三万円
七星会		三万円
小林 卓子	25回	三万円
玉田 文字	25回	三万円
久田 一郎	30回	三万円
佐々木 智則	46回	三万円
田中 康雅	49回	三万円
李 潤坤	50回	三万円
伊藤 一郎	1回	二万五千元

鈴木 聖子	稲垣 雄二	匿名 順子	大津 洋	池田 啓子	中澤 かずえ	鈴木 高彦	兵藤 和子	垣本 弘子	紺野 俊一	石崎 朝子	道野 朝子	杉山 良子	佐藤 孜	内田 恵津子	金坂 久遠	甲斐 定彦	渥美 建夫	西村 寛子	西川 政純	西河 秀行	岩崎 悦康	荻野 芙美江	浅井 一男	山下 征子	森山 洋之助	宇田川 治雄	内藤 義弘	宿谷 恵津子	亀田 侑男	石尾 曠師朗	中山 マサ子	佐藤 佳世子	大熊 惠美子	老川 秀夫	茶谷 正義		
24回	24回	23回	21回	21回	19回	19回	18回	18回	18回	18回	17回	17回	17回	17回	15回	15回	15回	14回	14回	13回	13回	12回	12回	10回	10回	9回	8回	8回	8回	8回	7回	7回	7回	6回	6回	6回	
五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元

森山 智美	吉田 智代	神庭 眞一郎	山澤 一喜	内見 和江	伊東 里紗	百目鬼 亨	田中 邦欣	有賀 一人	田中 京子	椿 淳子	堀越 春江	木津 宗一	宇田川 敏恵	高橋 貞子	岩田 喜美子	永井 康子	田中 昭江	布村 彰一	橋本 喜雄	小林 啓司	額田 統治	高橋 みゆき	矢花 正隆	日野 康子	平田 哲生	熊沢 智子	森田 晶彦	染谷 正人	滝沢 英人	弓北 晴和	石塚 重一	林 正江	久住 加代子	久住 健治	長沢 淑夫		
48回	32回	20回	13回	10回	68回	39回	39回	34回	31回	28回	27回	20回	15回	13回	13回	13回	11回	11回	6回	6回	中23回	50回	43回	43回	42回	39回	38回	35回	35回	30回	30回	29回	28回	28回	28回		
千円	千円	二千元	二千元	二千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	三千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元

寮管理人の思い出

楽水寮管理人 網代 優

令和四年 紅葉がきれいに色付く十月墨田川高校百周年誠におめでとございます。私は平成十四年に、館山観光協会より話が有り二度、三度お断りしましたけれど、ブライダル関係の仕事も六十一才で定年に成り最終的に学生達の青春の一頁に心豊かな夏休みを過せる為ならと引き受けました。

当初は一年生が八組あり半分に別れ四組が館山へ、パーベキューをしたり寺の掃除、海岸のゴミ拾いとボランティア生活を二泊三日で楽しんで過した事と思います。私達は当初は三食の準備で仕度やら買い出しやらと忙しい毎日でしたが、今思えば若い時の楽しい思い出にも成りました。それも八年か九年前で終り、その後は少し気の抜けた感じもありましたが、その後釣客や海を求めて来る御客様もふえました。その後も山あり谷ありでコロナで客が減少し、又、台風で二度ばかり災害に会い御近所へ屋根のトタンが飛んで迷惑をかけた事もありました。十五号台風の時は長期に渡り停電が有り市より充電器を借り携帯の充電、風呂の使

用等、近所の人達に使用してもらっている事を連日NHKで終日テロップによる楽水寮での貢献活動の告知が流されると共に墨田川高校はもとより楽水寮としても高い評価を頂き市長より表彰されました。その後コロナはまだまだ続いています

が、令和四年の夏私本人も軽いコロナにかかり十日程休みました。その時長年交流のあった御客様より労りの言葉や身体に気を付けてと優しい言葉を頂き目頭を熱くした事もありました。最近では身体の不自由なお子様達に田植えや畑の野菜作りなど協力し地方紙に載せてもらえた事は非常にうれしかったです。

皆様の御蔭で二十年近く務めさせて頂けたのも墨水会会員の方の親切な心使いと自分を支えてくれた家族、廻りの人達の御蔭と思えば本当に感謝に耐えません。歴史ある墨田川高校の協力により墨水会がますます発展する事を御祈念申し上げます。



今年度の主なクラブの活動実績

書道部

第38回高円宮杯日本武道館書写書道大観覧会

優良団体賞(全国10団体受賞)

【毛筆の部】

日本武道館奨励賞 1名

日本武道館賞 7名

【硬筆の部】

日本武道館賞 4名

第38回読売書法展

入選 1名

第31回国際高校生選抜書展

入選 5名

天文部

第66回日本学生科学賞都大会

最優秀賞受賞 全国大会出場(東京代表)

研究タイトル プロジェクト月面X

サブタイトル 一月面Xを再現せよー

(理系の研究の大会では国内最大・最古のものです。)

47都道府県で代表を決める大会があり、代表のみが全国大会に出場できます。天文部は、多数の^{*}SSSH(※文部科学省が指定したスーパーサイエンスハイスクールの略)・私学等の強豪校に勝って、最優秀賞で東京の代表に選ばれて全国大会に出場しました。

全国大会では、残念ながら入賞できませんでした。)

柔道部

令和3年 高校総体(インターハイ)東京都予選会

男子団体 5位入賞

(都立高校唯一のベスト8)

令和3年 全国高校選手権東京都予選会

女子団体 5位入賞

(都立高校唯一のベスト8)

令和4年 高校総体(インターハイ)東京都予選会

男子団体 ベスト32

吹奏楽部

第62回東京都高等学校吹奏楽コンクール

A組 銀賞

B組 金賞 最優秀賞

東京都学年別大会

男子団体 1年生 ベスト16

2年生 ベスト32

女子個人 2年生 3位入賞



墨水会広報委員長 一〇回 難波 直人
 広報委員 三回 井上 常一
 一三回 横井 正男
 一五回 加藤多恵子
 一五回 竹鼻 宏子
 一五回 谷澤 尚樹
 一七回 清澤 健一
 一八回 小川 浩平

編集後記

墨水会だよりは今回で三十号の記念発行となりました。井上顧問が幹事長であった昭和五十九年に第一号を発行して以来井上顧問のご努力もあって今日まで続ける事が出来ました。

今回の発行については百周年記念誌の発行と重なりいそがしい編集作業でしたが何とか例年通り発行する事が出来ました。内容も記念祝賀会、記念式典等、百周年記念誌と重複する面もありますがご容赦いただきたいと思います。今回で、平成三十年から行われた百周年の寄付金は終了となりましたので、この間の総てを記載させていただきました。又ほとんどの記念事業を終える事が出来ました事をご報告いたします。この間の会員の皆様のご協力誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

「墨水会だより」 第30号

発行：墨水会事務局

発行人：梶原 徳二

編集人：難波 直人

墨田川高校内墨水会事務局 〒131-0032 墨田区東向島3-34-14 電話：03-3611-2125(代) 事務局代表：谷澤 尚樹